

実践記録

学校/学年	小学校 / 4年	
教科等：単元名	学級活動「個人情報は大切に」	
キーワード	個人情報	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	b2 情報に関する自分や他者の権利を尊重する。
	中目標項目番号 中目標項目内容	b2-1 自分の情報や他人の情報を大切にする。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	個人情報はどんなものかを知り、友だちの電話番号や住所をむやみに教えないようにする。	
使用教材	教材名	なし（自作で台詞入りの台本を作る）
	製作者	
	入手先(URL等)	

展開案

	学習活動	指導 評価
導 入	1. 「個人情報」とはどんなものか考え、発表する。	・個人情報に該当するものを子どもたちから発表させる。
展 開	2. 電話で、友だちの名前・住所・電話本号を聞かれたらどのように対応するか考える。	・電話で聞かれ友だちの住所や電話番号を覚えてしまった事例を子どもに話す。 ・教えないためにどういう対応をしたらよいか考え、カードに書かせ、役割演技をする。
お わ り	3. 友だちの発表を聞き、どんな対応がよかったか考える。 4. 本時わかったことを発表する。	・感想を発表させて目標を達成する。 個人情報とはむやみに教えないことが理解できたか。

授業の成果

- ・年度末を迎えるにあたり、様々な方面から個人情報を問い合わせる電話がかかってきて、間違っって学級名簿を教えるという事例が発生する。そこで、個人情報とはどんなものかを理解させるだけでなく、どういう対応を取ったらよいかも理解させようと本時を計画した。子どもたちは、教師や保護者からむやみに電話番号を知らせないということは理解をしていますが、聞き出す方は嘘をついてまで個人情報入手しようとしていることまでは知らない子どももいた。そのため、実際に、教師が聴く側になって、どのように対応するか役割演技をした。機転の利いた答え方も出て、参考になった。

指導のポイント・留意点

- ・個人情報とはどんなものかというの理解を始めにすることが大事である。
- ・人数が多い学級では、グループに分かれて、聞き出す役、応える役、会話に聞いている役 を交代しながら行うことも可能である。